

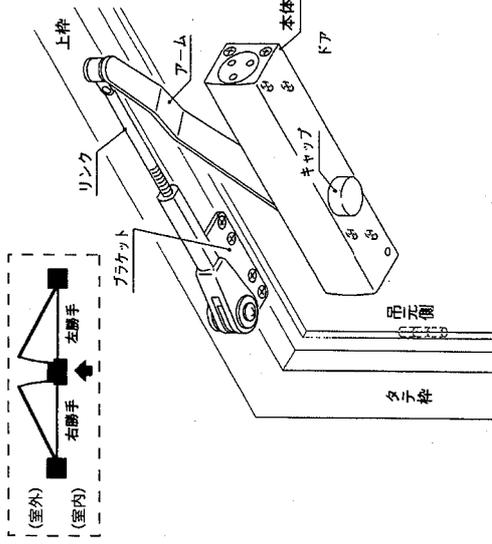
RYOBI ドアクローザ 20シリーズ 取付説明書

79828312

パラレル型 ストップ付

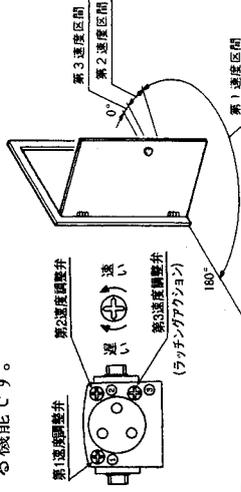
●DKCHK1N

■取付完了図 (本図は、右勝手を示す。)



■ドア閉じ速度の調整

- 調整は、第1速度、第2速度、第3速度(ラッチングアクション)の順に行ってください。
- 第3速度(ラッチングアクション)は、ドアが閉鎖位置手前 2° 付近まできた時点で素早く閉める機能です。



注意

- 速度調整弁は合成樹脂でできていますので、ドライブバーの先端を調整溝に確実に合わせて調整してください。無理に回すと溝が破損する恐れがあります。
- 第3速度は、ドアを素早く閉める機能ですので、第2速度より遅くすることはできません。
- 調整弁は、ゆるめすぎないように注意してください。ゆるめすぎると弁が抜け、油がモれます。

■ストップ装置の調整

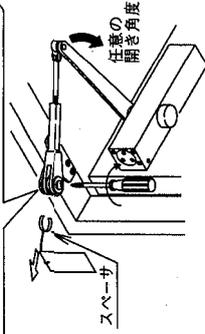
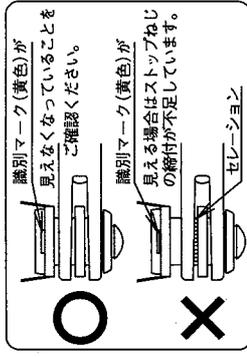
ストップ角度の設定

①お願い

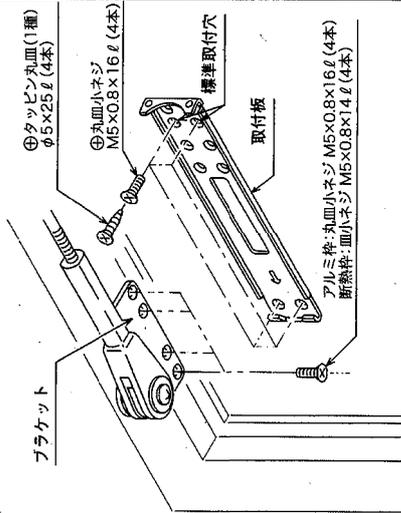
セレーション部がかみ合っていないか、ストップねじの締付力が不足していると、ドアの開閉時に異音が発生し、ストップ装置が故障します。

次の手順でストップ角度の設定を行ってください。

1. ドアをストップさせたい角度まで開き、スペーサを引き抜いてください。
2. ドアを前後に動かしながらストップねじをきつく締め付けてください。
3. ストップ装置上部の識別マーク(黄色)が見えなくなっていることを確認してください。(黄色い部分が見える場合はストップねじの締付が不足しています。)
4. ドアの開閉を行いストップ装置の作動・解除を2~3回繰り返してください。
5. 最後にドアを閉じた状態でストップねじを再度きつく締め付けてください。

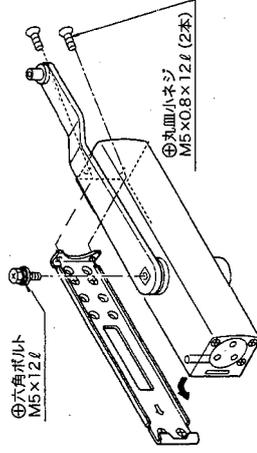


①ブラケットと取付板の取付け

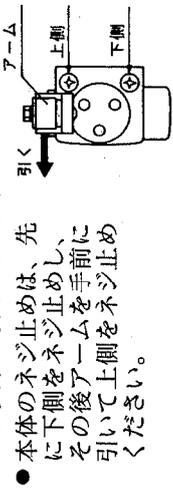


- 取付板は印方向を吊り側に向けて取付けてください。

②ピニオン軸にアームを組付け後、本体を取付板に取付け

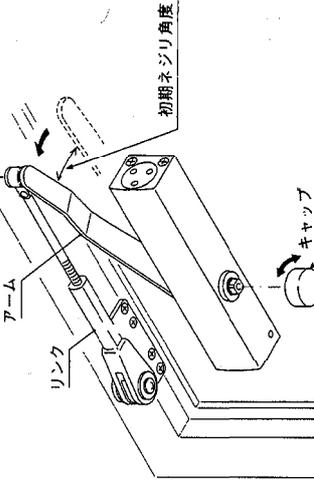


- アーム締付六角ボルトをしっかり、締付けてください。しっかり締付けされていないと故障の原因になります。



- 本体のネジ止めは、先に下側をネジ止めし、その後アームを手前に引いて上側をネジ止めしてください。

③アームとリンクを結合、キャップの組付け



リンクがドア面に平行になるようにリンクの長さを調節した後、アームとリンクを結合してください。キャップは組付け後、左右いずれかに回して、固くなる位置で止めてください。

注意

初期ネジリ角度が大きくなりすぎると第3速度区間がなくなりま

ストップ保持力の調整

アジャストリンクを外して、調整ネジを回し調整してください。

- 右に回すと強くなる。
- 左に回すと弱くなる。

左右1回転以上回すと故障の原因になります

